

刊夕日三廿月四



定価一圓五角 月刊五圓 郵費五圓  
廣告料五號十二字第一行金五拾圓  
日曜祭日の翌日休刊  
発行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日新聞社

### 欲生とは信仰の體

眞 繼 雲 山

佛法を聴くといふことは二つの耳さへあれば誰にでも難作なく聞き得られさうなものだが、なか／＼さう簡單にはゆかぬ、講壇や文筆等には佛法はあまねく公平に説かれてゐるのであるから、若し耳ある者はこれを聞き得るといふ話なら、萬人一様にこれを知つてをらねばならぬ筈だが、その實これを聞くものは百中の一二、これを信するものは千中の一二、正しき盤石の信仰を獲得するものは萬中一二を出でないといふのは仰法とは親ゆづりの肉体の耳だけでは聞くことの出来ぬを立證する、私が斯く貴重な連日の紙上に「宗教欄」を執筆してゐても事實これを丹念に讀んでゐて下さる人は、恐らくは千人無一人に一人であらう、親ゆづりの两眼が開いてゐたからとて、必ずしも佛法の縁に値ひ難きことを以て知るべし、それは何故であるか

「求むる心」が無いからである、佛法を知るためには先づ心の耳を澄ませ、心の眼を見開かねばならぬ。渴を覺ゆる者だけが、清水の尊さを知つて、これを手にするのである、満腹者に清水は得られない道を求むるものは先づ自我といひ我慢といふ雜物を除いて心を空虚にせねばならぬ。蜂が一里も二里もの遠方から野を越え、水を渡つて花の香を求めて來るのも、座敷の一粒の砂糖に蟻が黒く集つてゐるのも、求むる心ある故のはたらきである、叩けよ開かれん、求むる者にのみ與へられる、ひとり佛法だけが求めざるに恵まらざる筈がない。

かたまりであつて、とても道を求むるなどいふ殊勝な心の起る善の代物ではない、求めてゐるのは名譽か金か位のものだ、その煩惱のたまりが煩惱以外の心をもつやうになつたといふのは煩惱以外の何かの力はたゞらきであらねばならぬ。親鸞聖人はそれを佛の力に歸せられた。この信仰を求むる心持を大經第十八願には「欲生」と説かれてある、欲生とは「彼の阿彌陀佛國土に生れたいと欲する心」のことであらう、求道の一念であるが、親鸞聖人はその欲生とは、凡夫の自力で得られる譯のものではなく、それは阿彌陀佛から廻向せられたものである、如來の賜物であると釋された、その如來から下さるものが信仰の中心であり本尊なのであるから「欲生とは信仰の體なり」と申された、その信仰の本體は佛力の顯現であると仰がれたところに聖人の絶対他力の信仰が拜される。

たび道を求むる心に生じたならばモウ大丈夫、盲龜の浮木に値ふたやうなものであるが、それは宿善開發するにあらざれば能はぬ。人若し佛前に合掌し、法を求むる心が生れたならばそれは如來から廻向である下されものであると感謝するがよい。

電車は鈴鳴りでも、佛教講演會場はガラン洞だといふのは、求むる心が無いからであり、電車民旅に欲生といふ信仰の本體が抜けてゐるからである、それは恰も小判の光りが猪に交渉なきにひとしい、若し夫れ一

たび道を求むる心に生じたならばモウ大丈夫、盲龜の浮木に値ふたやうなものであるが、それは宿善開發するにあらざれば能はぬ。人若し佛前に合掌し、法を求むる心が生れたならばそれは如來から廻向である下されものであると感謝するがよい。

### 開店の御挨拶

福島貯蓄銀行は眞の庶民金融として最も簡便に貯金の機會を得て實行し得る様各地に代理店を設置し着々よき成績を擧げて居ります。我平町は海岸地方に於ける經濟界の中心地にして往年各位の御引立を蒙り相當の實績を見たので今般大藏大臣の認可を得まして左記の處へ福島貯蓄銀行平支店を新設して四月十四日より開業致しました。何卒多少に拘らず御引立の程を願上ます。

平町田町壹番地

株式会社 福島貯蓄銀行平支店

電話三〇八番

### 醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

福島縣平町五ノ廿八

志賀齒科醫院

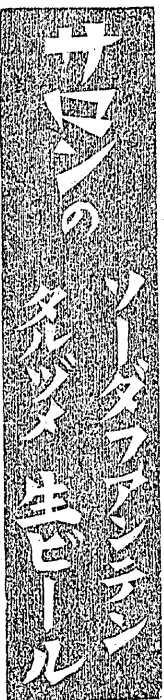
福島縣平町白銀町九

産婆 關口悦子

金拾圓 藥及特効五週間分付

金拾圓 藥及特効五週間分付

金拾圓 藥及特効五週間分付



### 祝昭和産業博覽會

大衆奉仕を念願とし 中間層の御相手として 存立意義 一〇〇パーセントの マルトモ食堂 階下 椅子 席も

新設いたしました 簡單に經濟にと常に心掛けて居ります

りには是非御立寄を 從業員獎勵として 御茶代一割主義標榜 其他絶対御心附は戴きません

御會合に 御會食に 至極御便 利なる マルトモ書店 電話一三三番

御會合に 御會食に 至極御便 利なる マルトモ書店 電話一三三番

●小兒下痢一切小兒腸胃散● 堀 藥局 平町二丁目 電話三二六番

●毎度御ひるき様です

●今回店内を改築いたしました

●例年の通り 自四月十六日 至同月廿六日

### マクロデー

マクロなべ 十五錢

山盛さしみ御一人前 十五錢

すし 十五錢 山かけ 十五錢

鐵火卷 十五錢

●ドーゾお花見と博覽會見物の

おかへりにお立寄り下さい

改築の食堂がおまちして居ります

御料理仕出し 平二丁目警察署通り

鮮魚 魚清水卸部

折詰御壽司 魚清水卸部

勿來製氷一手販賣 魚清水卸部

魚清水卸部 電話四六七

魚清水卸部 電話六三三

### 石城郡下各神社の 氏子總代集る

#### 平署會議室で總會 終つて公園の花見

石城郡下各神社の氏子總代會は來る廿四日午前十時より平署會議室に於いて總會を開催し午後よりは松ヶ岡公園にて懇親會を行ふと

されたので近く樺太永住の爲め出發する

#### 不毛地開拓

##### 大野村で

石城郡大野村字藥王寺部落の耕地整理組合にては昨年四月から同字の不毛地を協力して整理に従事しつゝ、あつたが此程九分通り整理を見たので明廿四日藥王寺地内で盛大な竣工式を舉行する事になつた

#### 自作農

##### 泉から移住

### 検査米は

## 減る一方

#### 疲弊した農家が 検査料に耐えず

平穀物検査所では管内農村移出米受驗方を奨勵して居るが農家の現状では自家用米まで手放す有様なので一俵當り移出米十錢生産米五錢の受驗手数料を支拂ふ負擔に耐えず手数料や運賃を要しない仲買人と取引交渉する者多い爲め同管内の受檢米は毎月激減する一方に於て昨年度の總收穫高十六萬二千四百四十九俵中、不

#### 平第一校の 遠足運動會

平第二小學校にては昨報の如く學年主任會を開き來る二十五日全校生の春季遠足運動會を左の如く行ふ事になつたが雨天或は降雨の憂れある時は順延すると

△尋常科第一學年松ヶ岡公園△第二學年飯野村龍門寺△第三學年草野村澤村神社△第四學年新舞子△第五學年關井井嶽△第六學年豊間村燈臺△高等科四倉町

木村前校長の住所 昨日出發した磐城高等女學校前校長木村寅三氏の住所は

### 青年分團對抗の 野球試合組合せ

#### 平第一と平商の二球場に 十三チーム出場

平青年團にては明二十四、二十五の兩日平第一小學校及平商業學校の球場に於て各分團對抗式野球大會を開催する事は既報の如くであるが昨日午後七時より二丁目平庶民金庫樓上に各キヤンプテン集合抽籤に依つて左の如く組合を決定したが當日は午前八時多田井團長の始球式に依り試合開始されると

#### △平商コート

A(白銀町) B(十七區)  
C(南町) (五丁目)

#### △第一コート

A(材木町) B(紺屋町)  
C(胡麻澤) (四町目)  
(二町目) (不戦一勝)

#### 小林所長が 土木献策

##### 縣下の會議に

本年度縣下土木監督所長會議は來る廿六の兩日縣

「東京市本郷區菊坂町八十二番地女子美術學校前」である

#### 職員身体検査

平町各小學校にては本日各學醫が職員一同の身体検査を行つたが校醫は左の如くである

△第一清水廣政△第二星精明△根本莊次郎

應内にて行はれるので小林平土木監督所長は左記の如き議案を提出し大いに管内土木工事の發達に努める事になつた

#### (橋梁架換費増額要求)

從來指定工事に依る架換工事實施の状況を見るに一監督所一ヶ年一橋或は二橋なり當土木監督所例に就て見るに橋梁數四六一橋にして一ヶ年架換二宛としても二三年かゝらざれば全部の架換を了さるもあり斯くては將來交通機關の増加に伴ひ完全なる橋梁を維持し難し依て明年度より架換豫算相當増額要求をなす

#### 平町人事

△下川原六二金成清保氏三女幸子  
△九品寺前一二九當時東京市小石川區茗荷谷町七遠藤完光氏長男英英  
△大工町一三當時東京市牛込區神樂町三丁目鈴木キクヨ(二一六)

## 募一二勇士遺族の 弔慰金

嗚呼忠勇無比の三勇士何ぞ其の壯烈なりしぞ鬼神も爲めに慟哭せむ、實に振古未會有驚天動地の偉業にして人生を超越し洋の東西に冠絶す、古今英雄多しと雖も蓋し三勇士に如くものなからん宜なる哉其の心情英雄以上の英雄なり、  
今や同胞國を擧げて戦に赴かんとする誰か彼の三勇士に感激せざるものあらむ殊に目下外交は危機に瀕し東亞の風雲彌々急ならむとする秋、内は國民の士氣を鼓舞し外は國家の威武を宣揚する誠三勇士に負ふ處甚だ大なるを痛感するなり、  
名將曰く「吾が皇國も三勇士ありて亡びず」と真に至言にして正に彼を弔ふ最大最高の弔辭なり、然り彼等三勇士こそ日本軍人の龜鑑にして大和民族發展の尊き犠牲者なり、  
吾人は彼等殉國の忠誠を永遠に紀念し併せて千古不磨の英靈を弔はん爲め彼の三勇士遺族へ薄志を饒け以て聊か勇士の靈を慰んことを  
愛國の士奮つて賛せられんことを

### 主唱 阿部政右衛門 後援 常磐毎日新聞社

一、弔慰金一人金拾錢均一に願ひます  
二、右弔慰金は平驛前丸ッ阿部石炭店又は常磐毎日新聞社に御届を乞ふ  
三、寄附者芳名を常磐毎日新聞紙上に掲載領收書に代ふ

#### 寄附者芳名 第廿四回分

下河原	松永	尊	同	荒木	重子
同	菅野	滿	同	鈴木	壽一
同	佐藤	ひめ	同	鈴木	キヨ
同	鈴木	キヨ	同	五色町	同
同	鳥畑	ムメノ	同	同	弘
同	岡崎	タツ	同	高橋	善作
同	菊地	トミ	同	榎木	キン
同	鈴木	庄次	同	石山	杉野
同	鎌田	マサノ	同	大須賀	カツエ
同	同	子	同	和田	タツエ
同	鈴木	定一	同	高木	保次郎
同	同	三	同	高田	みい

# 平町の国道舗装工事

## 確實と目される

### 延人員廿萬餘の労働者使用

### 失業者 緩和に 救ひの神

既報平町国道舗装工事は工費三十五萬三千圓にて着工すべく豫てより村井知事が上京

### 主務省に猛運動をし

た結果内務大藏兩省の承認確實と目されるに至つたので前記舗装工事並びに尼子橋及び鎌田橋の架換工事も同時に延人員

### 廿萬餘の労働者を使用

用する事になり炭礦並に平上水道工事等の失業労働者には正に救ひの神といふべき大工事である

## 國民的に恥ぢぬ 人格の養成を

### 正木新校長語る

昨日赴任した磐城高等女學校校長正木貞二郎氏はけふ事務引継ぎや訪問客の面接に

### 多忙を極めて居た

が「僕は女學校の校長としては今年が三度目であるが磐城高等女學校は昨年春視察した事があり一通りは頭に這入つて居るので非常に

### 感服するより外はない

其後を繼ぐ僕としては充分な努力を要する事を覺悟して居る、僕の主義として生徒には充分國民的に恥ぢぬ人格の養成に勤めた

### 小遣錢の

### 貸借から

### 船中の喧嘩

石城郡小名濱町鈴木善藏所有船榮丸乗組漁夫双葉郡木戸村生れ神崎富彌(○)は廿一日午後六時頃出漁の爲め四倉海岸沖を航海中同僚の澤田宏(○)と小遣錢の貸借から口論となり神崎は傍の丸太にて澤田の兩足を強打

全治二週間の傷を負はし昨廿二日小名濱町に上陸せる際駐在所員に取押られた

い」と語つて居た、尙シゲ子夫人との間には四男二女あり目下長男建夫君は福岡高等學校在學中にて次男芳夫君は磐中五年へ

### 轉校し平町舊城跡二

十一番地へ居を構へたとの事である

## 鐵相に對する 慰藉料請求事件

### 判決は二十八日

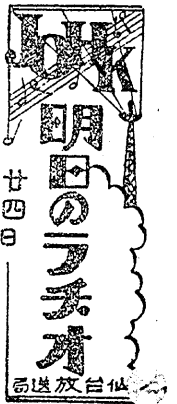
石城郡平窪村字辰ノ口松本清作(○)が平町榎小路鐵道踏切に於て轢殺され其の遺族金太郎及アイの兩名が辯護士門傳清吾、増田梅藏の兩氏に委任し昨年五月十一日

### 鐵道省を 相手取つて

三千圓の慰藉料請求訴訟を平支部に提起した事件は既報の如くであるが昨日午後

### 口頭辯論 開始された

が本日迄公判を開く事三回實地檢證二回に及んだ事とて愈々來る二十八日午前九時判決の言渡ある由



### 明日のラジオ

今晩の部  
後六、〇〇 講演「勸諭下賜五十年記念祝典を迎ふる」方吾人國民の覺悟を述べ「第二師團師司令部附陸軍少將木村恒夫」  
後七、〇〇 子供の時間「物語乃木將軍」中根茂「お祭稚兒櫻」宮崎富美代

### 回春院の慰安

石城郡豊間村の縣立回春院では明廿四日看護婦部員等を副團長中曾根正平氏が引率の上、東京方面へ慰安旅行をなす事になつた

## 平町優良 納税組合表彰

### 來る二十六日に

平町役場では二十六日午前十時より會議室に於いて昭和五六年年度に於ける平町の各優良納税組合の表彰式を行ふが當日は縣稅務課並に仙臺監督局よりの表彰傳達式をも併せて舉行する筈であり町役場よりの表彰されるものは南町第一納税組合外九十五組合縣よりの表彰は新川町上納税組合外十三組仙臺稅務監督局よりの鎌田町組合管理酒井龍之進が表彰されると

## 山林火災が 非常な増加

### 平營林署の調べ

平營林署の調査に依ると六年度の山林火災件数は十二件にて反別五十六町七段五畝歩此の損害(金二百二十圓八十一錢)で前年の八件反別十八町五段四畝歩損

### 上田科醫院

平町 南町 電話二一九番

### 豊間酌婦花見

郡豊間村料理屋組合では就業者慰安のため明日廿餘名の酌婦を組合長宮内保太郎氏外五名が引率して平町の

## 藝妓屋の女將

### カルモチン自殺

平町大工町一三生れ鈴木キクヨ(○)は幼少の頃より東京の藝妓を勤めて居り最近

害(金五十七圓三錢)に比較し非常に増加してゐる

### 卒業記念植樹

平町 白銀町吉田喜代治氏は本日愛娘喜美子嬢の卒業記念として第二小學校へ月桂樹一本を寄附した

### 上田檢事來任

平區 裁判所檢事に仙臺から轉任する上田二郎氏は來る二十五日三時十七分着にて來任すると

### 市川吉三郎

坂東彌五郎 後六、〇〇 子供の時間 ラヂオドラマ「御殿様」名古屋 A B U 座 後六、三〇 時事解説 鹽澤元治 後七、三〇 講演「勸諭奉戴五十年を以て奉りて」陸軍大臣荒木貞夫 後八、〇〇 箏曲「新曲三勇士」今井慶松外 後八、二五 浪花節「乃木大將陣中の別れ」津田清美 後九、〇〇 琵琶「廣瀬中佐」吉村岳城 後九、三〇 奉天より

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】  
悟道軒 圓玉 演  
近藤 紫 雲 畫

【第卅四席】 神影流の達人秋山要介

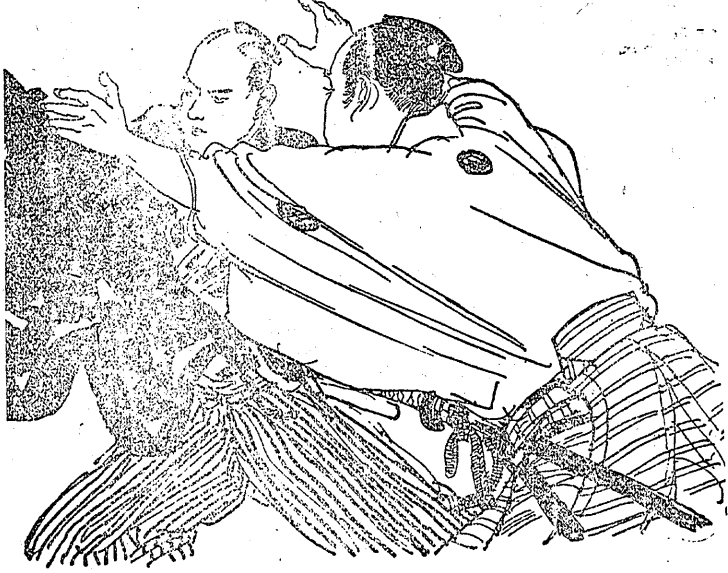
躍り込んだ一人の武家  
逸見多四郎に秋山要介は  
道場にて死生を争ふ事にな  
つた、逸見は甲源一刀流の  
達人、秋山は神影流の名人  
二三太刀が合くとバツと分  
れて又進み寄る、折しも此  
道場に躍り込んだ一人の武  
家

○「兩士暫く待たれよ」と  
言ひながら着てゐる羽織を  
脱いでバツと投げた、今二  
人が進み寄つた處へ投げた  
ことゝしてフワリと刀の上に  
落ちた、

○「兩士とも獲物をお引き  
なさい、申し談ずることも  
ござる、自分は江戸の住人  
千葉周作にござる」と申し  
た、逸見に秋山はこれを聞  
きバツと左右に分れた、其  
時要介が

要「千葉先生でござつたか  
逸見と勝負いたすは武士道  
の手前捨置き難き事あつて  
周「イヤ定めし仔細ある事  
でござらう、然し兩虎争ふ  
時は一虎は死し一虎は傷つ  
くと申す事もござる、殊に  
各々は斯道の達人、その人  
を失ふは剣道にとつての大  
損出、依つてお留いたし  
た」云はれて逸見多四郎が  
多「好んで拙者も秋山と

血を流さんと致す事ではご  
ざらぬ、秋山氏は拙者が門  
弟に申付けて暗殺いたさん  
と圖りしものなりと疑ひ強  
て勝負を挑まねて己むを得  
ず太刀を合せ申した」  
周「それはどういふ事かそ  
の仔細を承るであらう」と



云はれて秋山要介が今迄の  
始末を話した、周作これを  
篤と聞き  
周「それは秋山氏の誤解で  
あらう、逸見氏が貴公を討  
たんといたしたならばなん  
で無頼漢に申し付けよう、  
これは彼等が貴公の爲に捉

へられて殿しく責められし  
故に命を助かる爲逸見氏よ  
り頼まれて殺さんといはし  
たと申せし事であらう、其  
奴等を取押へて今一度吟味  
いたさばその事の虚偽も明  
かになるであらう」再度云  
はれて秋山も大きに後悔し  
て

要「俺は性來頗る短憂で、  
それゆえ往々失策致す、こ  
れは千葉先生の云はれる如  
く彼等無頼漢の命を助から  
んとして偽りを申したも  
であらうか、イヤ逸見氏貴  
公も驚いたであらう、是よ  
り彼等を取押へて一應取調  
べるであらう」

に入りた事とて明朝お尋ね  
申さうと此町の小紅屋方に  
一泊いたし、今朝振曉に臥  
床を離れた處秋山氏も仍且  
小紅屋に居られて是より逸  
見の許に参り眞剣勝負いた  
すと主人に申開け立ち出で  
たと承り、コハ一大事と存  
じ後を追ふて参つたが先づ  
は無事にて芽出度い」二人  
はこれ聞いて千葉の厚意  
を謝した、逸見の門弟も千  
葉先生の爲に血をみず済  
みしは芽出度い事と大層喜  
ぶ、逸見は千葉と秋山を母  
家に案内いたして心を盡し  
て饗應いたした又門人は先  
生の濡衣を乾す爲めに手分  
けをして蝮の八に周助、三  
次の行衛を捜したが小川と  
寄居の間勝呂といふ村の甚  
兵衛といふ博徒の許に隠れ  
てゐる事を聞き出しそれへ  
踏み込み縛り上げ小川に伴  
はれて参り秋山の前にて吟味  
をするると自分達の意志によ  
つて秋山を殺さうとしたと  
自状した、先生に頼まれた  
と云つたは命を助かる方便  
に偽り申し立てた、これを  
聞いて逸見が秋山氏を害さ  
んとした不埒な奴首を打ち  
落してくれると大いに怒る  
其時要介が

多「門人に申付けて三人の  
行衛を捜索させ引捉へて吟  
味いたす、就いて千葉先生  
はなんとして此處へお出に  
なつた」  
周「三峰山に参詣いたした  
其戻りに貴殿を訪問いたさ  
うとこれに」た、尤も夜

要「まあ待ちなさい、憎い  
奴ではあれど貴公の身を思  
ふていたした事、又拙者が  
貴公の看板を引外し持つて  
参つた事を恨みに思ふも尤  
も、あれは一日も早く貴公  
と試合いたす爲にした拙者  
の方便といふ事は此奴等は  
知らぬ、それを存せぬ故拙  
者を無禮者と思つたであら

一冊の代金で  
御希望通りな  
五冊の雑誌が  
自由に讀める  
川崎巡回文庫  
電話三三〇番  
(申込次第規則書進呈)

貴金 屬 高 橋 時 計 店  
時計及眼鏡類  
懷中 電燈  
キミガヨ電氣  
ランプ特約店  
平 橋 町 搦 小 路

## 「ロクマク」の人の心配無用

不治の病とは過去の事です、醫藥を用ひて  
抄々しくない方靈能偉力を有する「ママ  
シ」を用ひて下さい、但し素人の幼稚なる  
ママシの服用法にては効果ありません、今  
回研究部員が秘法公開致します、遠慮なく  
相談にお出下さい、  
◎特に、おすゝめ致し度い方説明書差上ります。

心臓病の人 胃腸病の人 性力欠乏の人 神  
經衰弱の人 体力の衰へたる人 食欲なき人  
冷性婦人病の人 腎臓病の人

東京市浅草田島町九一川上蛇類研究所  
平町五丁目二二(金光堂時計店裏)  
代理販賣所 井 内

## 貸切は...

セダン揃ひで  
貸切専門の  
昭和タクシーへ  
電話 三四三

## 御花見折詰

御重入辨當  
御料理仕出し  
錦水  
電話四五四